

+幸せを探すあなたへ

人生問題、 はたして死ねば終わるのでしょうか



ニーチェとステパノ

ある大学のキャンパスの壁に、キリスト教に反対する学生が「神は死んだ - ニーチェ」と書いておきました。ところで、数日後、その下に「ニーチェは死んだ - 神様」とい

うメモが残してありました。無神論哲学者の代表的な人物であるフリードリッヒ・ニーチェ(1844～1900)、「神は死んだ...私は運命だ」という言葉を残して、46歳で精神分裂になって、むち打たれる馬の首にすがってわあわあ泣いたり、一人で笑ったり、路上で狂ったように踊ったり、自ら「私は十字架に釘づけられた者だ、私はディオニューソスだ、私は悪魔だ、私は皇帝の息子だ」と叫びました。結局、精神病が発病した後、10年間、苦しみながら過ごして、1900年8月25日明るい真昼に「私に光をくれ、なぜこのように暗いのか」と大声で叫びながら、みじめな最後を迎えるようになりました。はたして、死ねば人生の問題も終わるのでしょうか。

ここに、もうひとりの死の話があります。イエス様が神様が聖書に約束されたキリスト(メシヤ)だという事実をユダヤ人たちの前で宣べ伝えて石に打たれて死んだステパノの話です。使徒の働き7章を見れば「...聖霊に満たされていたステパノは、天を見つめ、神の栄光と、神の右に立っておられるイエスとを見て、こう言った。『見なさい。天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます』人々は大声で叫びながら、耳をおおい、いっせいにステパノに殺到した。そして彼を町の外に追い出して、石で打ち殺した。...ステパノは主を呼んで、こう言った。『主イエスよ。私の霊をお受けください』」こう言って、眠りについた」この二人の死が同じ死でしょうか。

死の開始と死の終わり エデンの園で起きた人間の悲劇は、サタンという目に見えない霊的存在の悪賢い嘘から始まりました。神様から人間が永遠に生きる保障の証拠でもらった善悪の知識の木の実の約束を、サタンはあまりにも巧妙にだましました。「そこで、蛇は女に言った。『あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです』」(創世記3:4～5)この事件以後に、人間の悲劇は始まりました。人間は死ぬ事を恐れて、一生涯サタンの奴隷になりながら、目に見えないように反復する、とうてい理解できない霊的問題と精神問題、肉的問題、家庭問題、子ども問題、来世問題のわなにはまって、不幸な生活を送るようになりました。死の後にかくされた永遠な苦しみのわな、サタンは今日も来世について不正に、輪廻説で、転生説など、あらゆる方法で死以後の世界をだましているのですが、聖書は死んでも終わらない来世のさばきについて確かに語っています。「そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように」(ヘブル人への手紙 9:27)それなら、この問題をどのように解決しなければならないのでしょうか。神様はイエス・キリストの十字架の死と復活を通して、死の勢力をつかんだ者、すなわち、悪魔を滅ぼして、また、死ぬ事を恐れることで、生涯、サタンのわなに縛られて、奴隷になっているすべての人間を解放する道を開いてくださいました(ヘブル人への手紙 2:14～15)。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」(ヨハネの福音書 3:16)、「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」(ヨハネの福音書 5:24)

すべての人生の問題は、死ねば終わるのではなく、
信じれば終わるのです!

長老伝道企画時代 重職者 - 祝福そのもの

人々が言う祝福 仏教の「福」は、三災すなわち火災、水害、風災と生老病死による苦しみである八苦を避けることを言います。そして、儒教の「福」は受ける福で、現世でなければならぬ長寿、富貴、健康、得、自然死を五福だと言っています。

しかし、神様が人間にくださった祝福は、神様とともにいることです。魚は水の中で生きて、木が根を地中において生きていく時にいのちが維持できるように、人間は神様とともにいる時だけ、真の幸せと真のいのちを味わうことができます。この世の中の、どんな被造物も、神様とともにいる存在として創造されたことはありません。だから、神様とともにいる祝福を味わうのが、人間の最高の幸せです。その道を聖書は福音だと話します。ここに重職者は、この福音を証する契約的祝福の主演として呼ばれたのです。

重職者のアイデンティティー、祝福のかたまり 「そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる」(創世記 12:2)神様は皆さんのために五つの祝福を準備してくださいました。根源的な祝福、恵みを受ける程度ではなく、根源を得るようになると言われました。

代表的祝福、皆さんが答えを受けてこそ、他の人が祝福を受けるようになります。皆さんが祝福を受けてこそ、宣教できます。1ペテロ2章9節に「...それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです」私が代表的祝福を受ける資格があるからではなく、神様が皆さんをそのように呼ばれたのです。だから、神様もやむを得ず、皆さんを祝福しなければなりません。

時代的祝福、この時代に他のものはあるのに、福音だけはありません。他のものはみな強調するのに、福音だけ強調しないで、他のものには魅力を感じるのですが、福音だけ魅力を感じられませんか。それで、福音を持った重職者は、時代的な答えを受けるしかありません。次世代が見て分かるように、記念碑的な祝福をくださいました。不可抗力的な祝福、誰も奪っていくことができず、防止できない不可抗力的な恵みと祝福を必ず受けるようになるのです。これが重職者の心と思いの中に打ち込まなければならないローマ16章の思想であり、答えです。



神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもの五つの確信

救いの確信：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ8:15~16、1ヨハネ5:10~13)

祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ15:7)

導きの確信：神様は聖霊であなただの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ14:26~27、箴言3:5~6)

救いの確信：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(1ヨハネ1:9、ローマ3:24)

勝利の確信：救われたあなたは、世の中に勝れたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ8:31~37、1ヨハネ5:4)



神様の子どもの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様に向かって 集中権威を使いなさい



見なければならぬこと 生まれながら歩くことができず、毎日、神殿の美しい門の前に座って物乞いをする、足のきかない者、はたして、彼に本当に必要なことは何でしょうか。この足のきかない者は、毎日、物乞いをして食べて生きることを考えていました。ひとまず職業の選択は上手でした。また、人々が最も多く通う神殿の美しい門を選びました。よい場所を取ったのです。そして、毎日、その場に来るように手助けしてくれる人がいて、数多くの人が行き来しながら、コインを投げてくださいました。真に貴重な奉仕をしたのです。ところで、一度はTVに出てきたのですが、物乞いしたものを集めて、家を四軒も買った人の話が出てきました。また、ある物乞いは、高級乗用車に乗って退勤する姿がカメラに捕えられたりもしました。だから、私たちが無条件に手助けすることだけではないのです。本当に、この人に最も必要なことは何でしょうか。いくら物乞いしたお金を集めて、家を四軒も買ったとしても、結局は、物乞いです。最も必要なことは、物乞いの運命から抜け出すことで、この物乞いをつかんでいる暗やみの勢力、サタンの権威が崩れなければなりません。この人に、絶対に必要なことは福音、すなわち、イエス・キリストです。「すると、ペテロは、『金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい』と言って・・・」(使徒3:6)

見つけなければならぬこと 福音は永遠に残る唯一なものです。この福音を持った人が一日に1分だけでも、神様に向かって集中できるならば、どんなことが行われるでしょうか。神様に向かって集中する時、私が無くなって私を征服するようになります。聖霊が私を征服されることを聖霊の満たしと言います。そして、神様が最も望んでおられる最高の関心、すべての祝福が隠されている道しるべを探す道が、まさに弟子です。これ一つだけ通じれば、みな通じるようになっていきます。この時、一生の祈り、一生の伝道、一生の経済の祝福を持って世界福音化の祝福を味わうのです。これのために、神様は、間違いなく計画を立てて、皆さんを呼ばれました。それなら「なぜ私をこの地域に、なぜ私をこの教会に、なぜ神様がこの人との出会いを与えられたのか。そして、私がどのように伝道して生きるのか」この唯一性を捜し出せば、あらゆることをみな見出すようになります。

使わなければならぬこと 神様が皆さんを呼ばれる時、すでにすべての権威をくださいました。蛇とさそりを踏みつけて、敵のすべての力を制御する権威をくださいました(マルコ3:15、ルカ10:19、マタイ16:16~20、マタイ10:1、マルコ16:15~20、使徒3:6、ピリピ3:21)。この権威は、皆さんが努力して得たことではなく、神様がくださったことです。それで、使う時だけ働きが起きます。反対に、私が使わなければ、私の周辺の多くの人に問題がきて、被害を与えるようになります。モーセが、この権威を持って神様に向かって両手をあげて祈る時、神様はアマレクの軍隊を滅ぼしてくださいました。福音を持った者の祈り、伝道者の祈り、一時代の指導者の祈りは、必ず答えられるようになります。それで、皆さんがこういう結論を下さなければなりません。私の家庭と職場と教会に、祈りの灯を消さずに、暗やみをなくすように灯をともしなければなりません。困難にあった時、神様を見上げて霊的な力を得なければなりません。そして、侵略される前に、困難にあう前に、先にこの力と祝福を味わわなければなりません。神様は、皆さんを祝福の代表として呼ばれました。皆さん1人を通して、家庭と次世代が生き返るようになります。神様は、皆さん一人一人に、王、預言者、祭司の祝福を与えることを願っておられます。私1人でも、この福音を守れば、神様は私を通して世界福音化されます。この契約を握らなければなりません。皆さんが、代表的祝福を正しく知れば、皆さんを通して、この祝福が伝えられます。今週にも、この祝福が新しく伝えられるように願います。

説教_柳光洙牧師, 整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

8日(月)

伝道者が味わうべき正しい経済の祝福
(ローマ16:23)

経済は神様がくださいます。貧しさも富も、それ自体は祝福ではありません。神様のために経済を使う時、真の祝福になるのです。伝道と献金が小さいように見えますが、確かに影響を与えるようになっていきます。自分の家の経済家訓は何でしょうか。

9日(火)

みことばが整理されている人生
(使徒16:16~18)

今、神様が私にくださったみことば、私にくださった人、私に任せられた働きに対する祝福を正しく知って、祈りを始めなければなりません。福音と人生と講壇のみことば、教会と私の働きに対するみことばが整理されれば、揺れることなく、聖霊の導きを受ける祝福を味わうようになります。

10日(水)

専門性に向けた習慣(詩78:70~72)

ひとりで神様の前に立つ定刻の祈り、現場で全てのものを祈りにつなげる常時祈り、礼拝を通して最高の力とみことばを握る礼拝の祈り、これが体質になれば、聖霊に満たされる働きと未来を見ながら、専門性と唯一性の答えを受けるようになっていきます。

11日(木)

親の祈り(出2:1~10)

子どもを自分の思いどおりにできなくても、子どものために祈ることができます。子どもの背後で働く暗やみの勢力を打ち砕く御名は、ただイエス・キリストです。福音的な祈り、霊的な祈りは、必ず子どもを生かして変化させる最高の方法です。

12日(金)

真の祈りの課題(ローマ1:9~10)

今、いくら難しくても、祈りの答えを受けられるならば、何も問題になりません。それで、祈りの体質をそろえて、福音と祈りと伝道に対するみことばが整理されれば、すべての問題の解決者であるキリスト、神の国、聖霊の満たしの答えが来るようになります。

13日(土)

霊的な頂上に上がりなさい!(詩23:1~6)

全てのものを福音の目で見ながら、少しだけ祈れば、ものすごく大きな霊的な力を味わうようになります。この時、過去、現在、未来が見ることができ、問題の答えと人生の方向も見ることができ、個人と世の中と時代に必ず必要なことを見ることができます。この時、福音の力を持って挑戦すれば良いのです。

週間メッセージ

産業宣教 | 無理な挑戦(使徒3:1~12)

伝道学 | 世の中の問題の中での答え
(出2:1~10)

核心訓練 | 三つの唯一性(エペソ1:3~5)

聖日1部 | 災いと祈り(出17:8~16)

聖日2部 | 滅亡と救いの代表的な原理
(ローマ5:12~21)



ブルーダイヤモンド

人間のからだは肉体とたましいから構成されている。肉体は肉と骨と血で構成されているが、結局、人間は死ねば土に帰るので、からだの構成要素は土だ。しかし、正確な意味では、ちりという言葉が合うだろう。ちりのような人間が、どんな価値を持つのかは、その人自身がその価値を維持している時だけだ。

昨年、南アフリカ共和国のカリナン鉱山で採掘されて話題になったブルーダイヤモンドが、スイスのジュネーブのサザビーズ競売で公開された。このダイヤモンドは世界で最も美しい原石だったので、蒐集家が注目していたのだが、何と1049万8500フラン（約9億円）で落札されたという。今回、販売されたブルーダイヤモンドは、7.03カラットだということだが、カラット(Carat)は宝石の重量単位で、1カラットは0.2g、すなわち200mgで、それなら全部で1,406mgだ。大きさは小指くらいで、卓球の球が2.7gであるから、半分の重さしかない。地球上で一番小さいながらも、ものすごく高いこの石は、希少であるために、価値を認められている。

未来の生き方を予想できないのが人間なので、不確実な未来を考えながら、人々は生命保険にお金をかけておく。それで、世の中のお金の半分は保険会社のものだと言われている。迫って来ていないが、必ず来るだろう時間に、あらかじめ経済を入れるのは、その価値を深く思っているということだ。自分のからだをむやみに傷つける青年たちが、簡単に墮落に陥ったり、今日に縛られているとしても、そのいのちの妊娠を喜んで、それが育つことを通して、心から喜んだ両親にとって、彼らは世の中の全てであり、人間が得ることができる最高の価値、まさにそれだった。

全宇宙の中で、人間の値段を正しくみなす存在は、はたしてだれであろうか。子どもを誘拐して身代金を高くつけるとしても、両親が持っているもの以上のことを要求することはできない。結局、両親がいくら最高の値段を払ってくれるとしても、その限界を越えることはできない。私自身が私の価値を尊く

認めにくいのが現実だ。

しかし、簡単に考えれば、簡単ないのちだが、その価値のために私が知らない絶対的な存在が、価なしで私を買われたとすれば、どうであろうか。地球の一握りのちりの中から、数百億の価値を認められるその創造の神様が、最高の価値の存在として造られたのが人間だ。その存在、そのままだったら、どれくらい良かったのか、彼がその値段をのがして、一度に、のどに通り過ぎる植物一つで、すべての価値を永遠に失ってしまった時、人間の存在はちりの値段にもならなくなった。しかし、神様は人間をそのように簡単にあきらめられなかった。人間の弱点が何かご存知なので、道に迷った彼に道を知らせてくださった。防ぐことができない罪の権威を分かるので、自らその罪の値段をあがなわれた。それが十字架であった。ひとりの出産の苦しみは大きいですが、人類全体の出産の苦しみをひとりで担ってくださって、人間に自由を与えなければならぬと神様は感じられたのだ。結局、元に戻せない現実から抜け出せない運命の鎖によって、完全に縛られた人間のために、その方は解放者として自由を宣言された。地球をすべてささげても、その値段には足りないのだから、神様であるキリストが人間になられて、私たちに來られたのが福音だ。そのキリストの愛は、信じてみてこそ知ることができ、告白してみても知ることができのだが、それは、その全てのものが自分を低い価値だと、今まで知らずに熱心に生きて来ているあなたに向かった最高の価値であった。

爪ほどにしかないブルーダイヤモンドの価値より、数億万倍の価値で、神様はちりで造られたあなたを愛されるので、喜んで伝道者を送って、この福音をくださるのだ。知らずに生きていたが、もうこれを自分のこととして味わいなさいということだ。

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください